

題名 震災学習をして

(1)月 (14)日

5年 1組 名前

27年前の1995年1月17日阪神・淡路大震災の免強をして、とてもこわい物であり、たくさん的人が亡くなつたとてもすごい災害であることが分かりました。5年生は、神戸新聞社報道展示室の所でも勉強をしていましたがまた、ちがう事もしてとてもよかったです。震災で、なくならなくても、数日後になくなつてしまふ人もいるんだ。と思いました。いろいろな事を知れただけで、地震がおこっている時、どんな感じだ。たのかまで知れただけで、とてもこわいんだ。と思いました。午前5時46分で止まつた時計を見て、床にたたきつけられたんだなあと思つた。がラスがすべてわれてしまつたりもしていたそうなのでびっくりしました。そして、新聞記者はすごいと思いました。なぜなら、阪神・淡路大震災が起つた後いろいろな人が大変なこうだけれども新聞を作つたり取材をしたりするのがとてもすごいと思いました。阪神・淡路大震災は、淡路島の近くで発せられたと諺事を知らないかたので聞けてとてもよかったです。阪神・淡路大震災を忘れない事で阪神淡路大震災のすごさを語り継ぐのだ。と思い、私もこれからは忘れないようにしたいと思いました。
教えていただきありがとうございました。

題名

震災学習をして

(1) 月 (14) 日

5年 | 組 名前

私は今回の震災学習で、たくさんのことことが分かりました。阪神・淡路大震災では、たくさんの被害があり、とても大変だった。たけと、神戸新聞の記事は、読者をはじめますことが書いて、すごいなと思いました。神戸新聞社では、ガラスがわれたり、つくえやロッカーが動いたりして、とてもこわいな、と思いました。なのに京都新聞に印刷をお願いして書き続けていたことにびっくりしました。阪神・淡路大震災では、火事もたくさん起きて消防車がこれなかったことが分かりました。また、72時間たつと、生きている確率が少なくなることも分かりました。

近いうちに必ず災害がおこると思うので、今回学んだことをいかしたいです。また、阪神・淡路大震災のことも、忘れたくないです。

題名

震災学習をして

(1)月(14)日

5年 1組 名前

今回、震災学習を教えていただき、ありがとうございました。

ほくはこれまで地震のことをくわしくは知りませんでした。しかし、今回のお話を聞いて、淡路島だけで死者が21人という話をはじろきました。なぜなら神戸市北区と比べると4倍以上あるからです。ほくの母も淡路島育ちなので、どうゆうやれだったか知りたいです。

もう一つおどろいた。それは被災者が住宅にまだ戻らなかったことです。しかし、神戸にあるのではなく、神戸に行きたいう人もいたそうです。ほくもその気持ちに共感しました。なぜなら、地元にしばらくいないと、いざながたり、おうちがなくなってしまう、いやな思いをするからです。

今回のお話を聞いて分かったことは、被災記者たちの苦心や、阪神淡路大震災の大まな被害が分かりました。そして、このような被害を防ぐために、備えをし、未災時に備えをすること分かりました。

題名

阪神淡路大震災について学習をして

(1)月(14)日

5年 1組 名前

今日は阪神淡路大震災について色々と教えてありがとうございました!!
ぼくはこの学習で考えたことは、地震はいつくるか分らない。ということです。

後、分かったことは、高速道路は初め地震が来ても大丈夫だと思えたけど、今日の学習をして高速道路でも横倒しにならうこと

今日、はじめて知りました。

ぼくは「幸せ運でるように」と聞いている時少し泣いてほほえむ。
曲のどちゅうに「もくなたがの、いつも毎日を大切に生きよう」という歌で
いたは軽く思っていたけど、今日聞いたが止まらなかったので
しっかりとした人がぼくが引き出します。

題名

震災学習をして

(1)月(14)日

5年 1組 名前

阪神・淡路大震災があった1995年1月17日たくさんの人が死んでしまって家族をなくした人はとても悲しいだろうけど神戸新聞はあきらめずに新聞を作りつづけた神戸新聞のすじさがわかった。

阪神・淡路大震災のドラマもあってこの震災は、本当に大事で人の命の大切さなど震災は、きけんびたてものにつけられた人の命はもともどりなくて、がくなれた人の名前をわすれてしまう人がいるかもしれない。だからみんなでたすけ合って、なくなった人の顔や名前を思いだしながら生きていってほしいなと思いました。

題名 震災学習をして

(1)月 (14)日

5年1組 名前

今回の勉強で阪神淡路大震災とはどんなにも
たへんなことなんだと知ることができました。27年前
たくさんのが死んでしました。たくさんのたてものがく
ずれてしまふ家でやたいせつな人もいなくなってしま
た。そんな事を想像するとてもかましくなります。たても
のの、じたじきになってしまったりとか食べ物が
なくなじんでしまったりとか、たくさんの物があの大さ
なじじんで、なくなってしまったんだと思ひます。そんな
大きなじじんがあったら、どうやって自分の命を守るのか
を考えていきたいです。家でひなんするところを決め
たり、クローゼットや、ほんだなを、固定しておいた
り、防災バッグを、けんかんのところにあいたり、いろんな
ふうをして、自分の命や家そこの命を守りたいです。

題名

震災学習して

(1)月(14)日

5年1組名前

今回の学習で神戸新聞社で教えてもらえた事以外にも大切な事をたくさん知れて良かったです。一番心にのこった言葉は、災害は繰返す、備えにゴルはない」という言葉です。本当にそのとおりだと思いました。

ほかにも今まで学習してきた中で、学んでいたい事を学んで、たとえば「ぼくは震災は地震がおきた時に亡くなる人がたくさんいたけれど、地震がおきて数日がたつたら生きる人もいるんだ」ところは安全やと言ふのが地震がおきたらそれはしがきけんになった事を知れて、地震の事がもうぐわくなりました。

題名

震災学習をして

(1)月(14)日

5年1組名前

震災学習をして平成の時代は自然災害が多くて死者と行方不明者が多い事がわかりました。

「阪神・淡路大震災」の名前の理由は淡路島で最初に地震がおきて阪神の方までいたから「阪神・淡路大震災」になった、という事がわかりました。

震災の免強して分かった事はいつ大きな自然災害がおきるかわからないのでまともで防災バックと防災グッズを用意しどけはいい事がわかりました。



「後どこで会な人する事とかやもしも迷子になった時にどこで待ち合せをするのかを家族で話し合う事が分かりました。

部名

震災学習をして

(1)月(14)日

5年1組名前

平成に発生した災害は、いろんな所で地震が起きていることが分かりました。平成に発生した災害はとても多いことが分かりました。高速道路とともに人がなのに折れ、635X-トルも、橋がたおれて、車などがバスもやれているからとても大きな地震だと思いました。神戸新聞と京都新聞は、仲がよいことが分かりました。阪神・淡路大震災は、多くの人が亡くなっていたことが分かりました。平成に発生した災害の中で阪神・淡路大震災での震度が平成の中で一番地震が強いことが分かりました。平成の地震で行方不明者の人もあることが分かりました。

題名

震災学習をして

(1) 月 (14) 日

5年 1組 名前

今日は、震災のことについて、お知りえたいだけ、ありがとうございました。

今日の震災学習で考えたことは、「これからも、忘れずに、二ねがうく、震災を経験したことない人達にも知ってもらいたい。」です。震災を経験したことは、ないけれど、神戸で、1995年にこんなことがあつたということを、伝えたいと思いました。